



# つばさ

「元気に暮らす、元気に働く」

校長 中浦 雅子

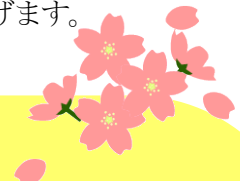
今年の冬は近年にない大雪になりました。そんな1月の大雪の中、3年生は最後の就業体験を終えました。3年間、朝早く家を出て高岡高等支援学校に通い続けた力は、踏ん張る力となってこんな時にしっかりと発揮されたようです。

社会的自立・職業的自立を目指して本校に入学し、1年時からの就業体験を通して働くために必要な力を高めてきた3年生21名が、いよいよ卒業する時が来ました。卒業後の社会人としての長い人生を元気に暮らし、元気に働き続けるためには、健康であることがとても大切です。

「自分で考えて行動し、自分の行動に責任をもつことのできる社会人」を目指してほしいと日頃から話しています。社会人となる今、健康な毎日を送るためにどんな生活をする必要があるのかということとを一人一人がしっかりと考えてほしいと思います。そして、考えたことをぜひ実行に移してほしいと思います。一昨年卒業した11名の1期生が、今年成人を迎え、全員が社会人として元気に働き続けています。皆さんも、この先輩たちの後に続いてください。

21名の卒業生の皆さん、それぞれに夢と希望をもって社会に大きな一歩を踏み出し、本校の卒業生として元気に一步一步前に進んでいってください。

最後に、この21名の成長を支えるために、様々なご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様、TKS 未来応援団に加盟していただいている多くの事業所の皆様に、深く感謝申し上げます。



## 卒業に寄せて

### 受注班

在校生へ

パソコン分解では、コミュニケーションを大切に責任をもって行ってください。安全第一、挨拶を大事にして頑張ってください。

卒業生へ

パソコン分解で取れなかったネジを取ってくださいありがとうございました。僕たちも先輩たちのように後輩に優しく教えていきたいです。

### 食品加工班

在校生へ

積極的にパン作りをやって来て本当に助かりました。今度は、上級生として後輩の良い手本になるよう、頑張ってください。

卒業生へ

食品加工班でいろいろなことを教えてくださいありがとうございました。おかげでたくさんを学ぶことができました。

### 環境班

在校生へ

これからは、みんながアビリンピックの全国大会出場を目指して頑張ってください。新2年生にしっかりと清掃を教えてあげてください。

卒業生へ

卒業したら、仕事を頑張って、給料をたくさん稼いで家族や自分のために使ってください。環境班は安心して任せてください。

### 流通・福祉班

在校生へ

大変な時期もありますが、体調に気を付けて就職に向かって頑張ってください。今まで習ったことを後輩にも教えていってください。

卒業生へ

えびCaféでは、接客の仕方を教えてくださいました。福祉では、ベッドメイキングのコツを分かりやすく教えてくださいありがとうございました。

**<受賞記録>**

中田 一輝 平成29年度 生徒図書委員表彰  
 水野 佳乃子 「高志の国文学」情景作品コンクール  
 美術部門 (高校生の部) 佳作  
 坂田 真由美 「室井滋のしげちゃん☆おはなしラジオ」  
 感想文・図画コンクール  
 FM とやま賞 銀賞

**『元気とやまスポーツ賞』を受賞しました!!**

2月16日に、「元気とやまスポーツ賞」の授与式が行われました。本校は、障害者スポーツ協会主催の大会に積極的に参加していることや、運動系の部活動で他校との交流練習を行っていること、学校健康づくり運動推進事業として卒業後の生活で利用できる地域資源の活用を進める取組を行っていることなどが評価され、受賞につながりました。

今年度、3つのアクションプラン (重点課題) を設定し、目標達成に向け取り組みました。

重点課題	達成目標	評価
1 学習活動：各教科等の学習指導の充実	① 教員一人1回以上の互見授業の実施 100% ② 「主体的・対話的で深い学び」を促す授業づくりのための研修会の開催 5回以上	A
取組状況	① 全教員が、一人1～2回の互見授業を行いました。「主体的」「対話的」「ICTの活用」の3つの観点を取り入れた指導案 (略案) を作成し、生徒が主体的に考えることをねらった授業づくりに取り組みました。授業を参観した教員は、観点を整理した感想カードを記入することで授業者意見や感想を伝え、授業改善につなげました。 ② ICT 機器を活用した授業づくり、アクティブ・ラーニングや合理的配慮を展開する際のポイント、アクティブ・ラーニングの意義などのテーマで、外部専門家による研修を3回行いました。また、「主体的な学び・対話的な学び・ICT機器の活用」についての捉え方や主体的・対話的で深い学びに関する県外出張の報告会などの校内研修を3回行いました。	
今後の取組	・互見授業をするに当たり、指導内容の見直しや整理を進めてきました。今後は、教員向けの「指導内容表」から、生徒や保護者も何をどのように学ぶかが分かるような「シラバス」を作成し、学習活動を充実させていこうと考えています。 ・略案による互見授業では、主体的・対話的で深い学びを実現するための手立てや教材の工夫が解明されてきました。今後は全教員で授業について意見交換する場の設定を工夫し、成果の有効な共有の仕方を検討していきます。	
2 生徒指導：規範意識や自己指導能力を育てるための指導の充実	① 学校生活ハンドブックを活用した全体指導 10回以上 ② 保護者と連携していくための取組 5回以上	A
取組状況	① 年度当初や長期休業前等に、学校生活ハンドブックにある通学や外出、交友等に係るルールについて、下線を引いたり自分の課題として書き出したりして、守るべきルールや自分のとるべき行動を確認する機会を設けました。また、携帯電話の使用については、生徒が必要だと思うルールを生徒会から発信するなど、12回の全体指導を行いました。 ② 夏季休業等の生活について、親子でルールづくりをするなど子供への働き掛けを依頼し、家庭での取組についてアンケートを行いました。PTA 総務委員会に生徒指導担当教員が参加し、子供の安全な生活のために親ができることについて話し合い、「携帯電話利用の主導権は親がもう」など、保護者発信の提案を PTA 広報誌を通して伝えました (8回の取組)。	
今後の取組	・学校生活ハンドブックに掲載すべき内容、情報量、記入の仕方などについて、指導する担任や活用する生徒からの声を聞きながら検討し、さらなる効果的な活用を進めていきたいと考えています。 ・保護者への働き掛けの取組は紙面でのやりとりが主ですが、保護者とは日頃から気軽に話し合える関係を構築しながら、担任や学年主任が常にアンテナを高くして生徒の生活状況や家庭での困りを把握し、課題を共有していきたいと考えます。	
3 教育相談：本校を進学先として考えている生徒についての教育相談、進路相談の充実	① オープンスクール参加生徒、保護者の満足度 80%以上 ② 教育相談関連行事で参加生徒が感想や思いを表現する機会を設定した回数 3回中3回	A
取組状況	① オリエンテーションで校外作業学習を含めた各作業班の映像を提示したり、参加生徒の希望に応じて2種類の作業班での体験を設定したりしました。また、保護者が参加生徒の様子をじっくりと参観する時間を設定した結果、参加生徒と保護者の満足度は100%でした。 ② 生徒が参加する学校見学会やオープンスクールにおいて、毎回 (3回中3回)、5、6人程度のグループ懇談を設定しました。作業学習についての感想や進路先についての思いを話したり、グループで聞き合ったりすることができました。	
今後の取組	・昨年度と比べ志願者が増加しました。映像資料による情報提供は有効であると思われるので、次年度の中学校訪問でも映像資料を活用して学習内容や本校の取組をさらに分かりやすく説明したいと考えています。また、志願者の少ない高岡市内中学校への訪問を丁寧に行い、特別支援教育や進路指導担当の教員への啓蒙の取組をさらに充実していきます。 ・学校見学会やオープンスクールにおけるグループ懇談は、参加生徒の不安や疑問の解消につながったと思われます。時期により参加者の学年層が異なるので、グループ懇談のやり方やアンケート内容を工夫していきます。	

**平成30年度当初の  
行事予定**

4月9日 (月) 第1学期始業式 入学式  
 27日 (金) 学習参観 PTA総会 学年懇談会  
 5月26日 (土) 第6回体育大会  
 28日 (月) 振替休業日